

パモジャ PAMOJA



第35号
青年海外協力隊 巢守 世那
2026年 6月29日発行

お祝いはみんなで！

Hamjambo?

タンザニアにはイードという祝日があります。イードは2回あり、ラマダンという断食期間をやり遂げたというお祭りと、今回の犠牲祭とよばれるお祭りです。この日は、朝はモスクに行って特別な礼拝を行うそうです。そして牛、羊、ヤギなどの家畜を神への捧げものとしてほふり、その肉を家族や親戚、貧しい人々に分け合うとされています。

「お祝いをするからおいで！お祝いの日に一人にいるなんてダメだ！」と同僚に誘われお家に招待してもらいました。同僚の家に行くと、同僚の家族や近所の人などたくさんの人に来ていて、ごちそうの準備をしていました。「まずは、腹ごしらえだよ。」と出されたのが、手作りのマンガジ（揚げドーナツのようなもの）とヤギの腸のスープでした。ヤギのスープは見た目に驚きましたが、みんなが「おいしいから食べてごらん。」と言うので挑戦しました。思ったよりも優しい味で胃に染みわたりました。食べ終わった後は、ごちそうの準備のお手伝いをするのですが、給食を作るの？と思うくらい本当に大きな鍋で作るのでとても大変でした。ごちそうが出来上がるとみんなでごちそうを囲みながら色々な話をしながらお腹いっぱいになるまで食べました。家族のように受け入れてくれる温かさが素敵だと改めて感じた一日でした。



タンザニアのお米の中には、石が混じっていることもあるので、ご飯を炊く前にまずはお米の中からお米以外の物を取り分ける作業があります。これが意外と時間がかかります。



ピラウ、揚げた魚、焼いたヤギのお肉、バナナとヤギの肉を煮たもの、豆の煮込み、ヤギ肉のトマト煮込み、ピリピリ（辛いソース）など



↑たくさんのスパイスを使います。

←ヤギの腸スープとマンガジ



みんなで、ごちそうを前にハイチーズ!!

